

2.7(学校・保育園)

	自分が参画できること	参画する上での困難点
1	子どもの話に全力で共感する	個人情報
2	参画することで富士見の良さを発信(発見)できる	自らの高齢化
3	井戸尻をもっと発信したい	時間のやりくり
4	小さな町だからこそできることがある	仕事と家庭のやりくり
5	チャレンジするための伸びしろがある	仕事とやりたいことのやりくり
6	子ども目線で遊ぶ	地域への関りを遠避ける世帯も増えている
7	母校の愛着	日常に追われる中で、やりたいと思う活動ができない
8	母校の存続	学校にダイレクトに手伝うと言いつらい
9	学校行事への参加	学校からではなく、子供が何をやりたいかを出発点にする
10	地区子ども育成会への協力	部活動地域移行の指導者不足があるが、指導は難しい
11	子どもの見守り	学校がなくなると地域の核がなくなる
12	子どもと一緒に楽しむ	
13	保育園で読み語り	
14	共に遊ぶ	
15	よそ者視点	
16	人手としてサポートできる	
17	環境を活かす	
18	地域の環境との関わり	
19	親が町のことを考えている姿をみせる	
20	親としてまず地域への関わりの必要性を示す	
21	自らが「おもしろい大人」になる	
22	自分の得意なことで子ども向けのボランティア活動を行う	
23	子どもが本来持っている力を信じて引き出す	
24	おもしろい大人になりたい	
25	自分自身が楽しい	
26	自分の仕事を子どもに見せる	